

平成22年度 桜川市決算報告

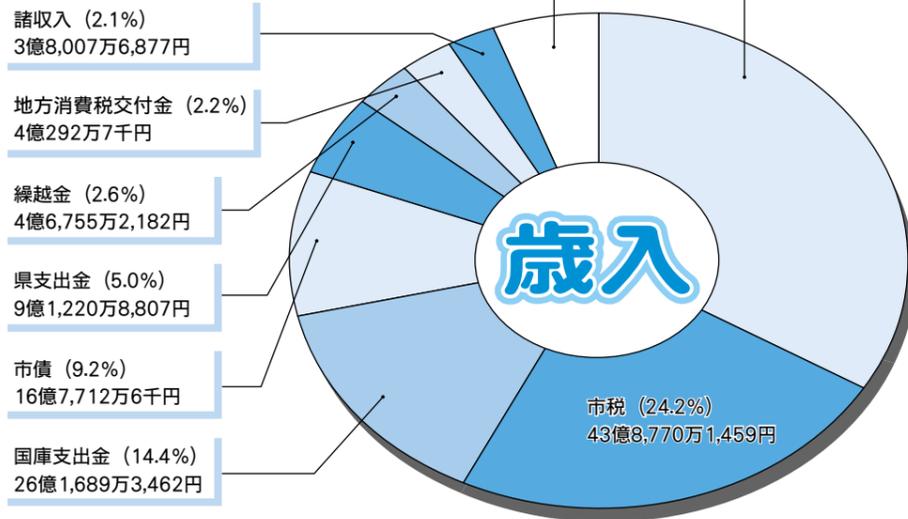
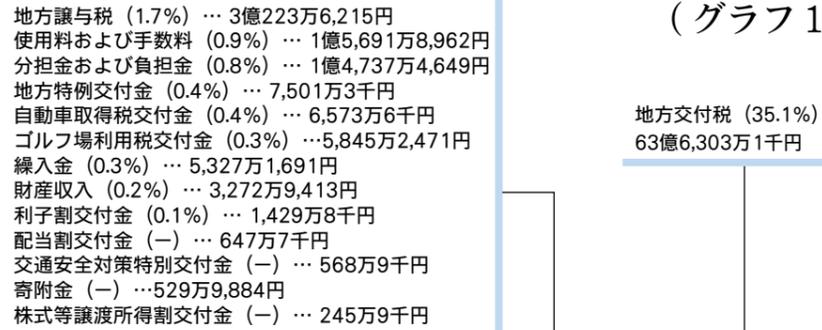
一般会計・歳入の内訳

181億3,347万2,072円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は181億3,347万2,072円。グラフ1（下・円グラフ）は、その内訳を表したものです。

所得税・消費税などの国税の一部を国から交付された地方交付税が約35%を占めています。次いで、市民の皆さんに納めていただいた市民税などの市税が約24%。続いて、子ども手当負担金、生活支援や公共施設改修など特定事業に対する国から支出された国庫支出金が約14%となっています。以下、市債、県支出金、繰越金、地方消費税交付金、諸収入の順になっています。

(グラフ1)



歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出	
一般会計	181億3,347万2,072円	167億9,588万5,131円	
特別会計	国民健康保険	57億6,914万3,096円	54億1,561万7,229円
	老人保健	445万8,844円	445万8,844円
	農業集落排水事業	4億1,404万4,748円	3億9,988万3,737円
	公共下水道事業	8億43万6,336円	7億9,521万6,568円
	介護保険	33億3,741万1,851円	32億4,497万2,498円
	介護サービス事業	881万5,249円	554万1,402円
後期高齢者医療	3億2,703万9,437円	3億2,386万907円	
合計	287億9,482万1,633円	269億8,543万6,316円	

平成22年度の一般会計・特別会計および企業会計が、平成23年第3回桜川市議会定例会で承認されました。市政の中心、一般会計の歳入決算額が181億3,477万2,072円、歳出決算額が167億9,588万5,131円となりました。今月号で、その決算概要についてお知らせいたします。

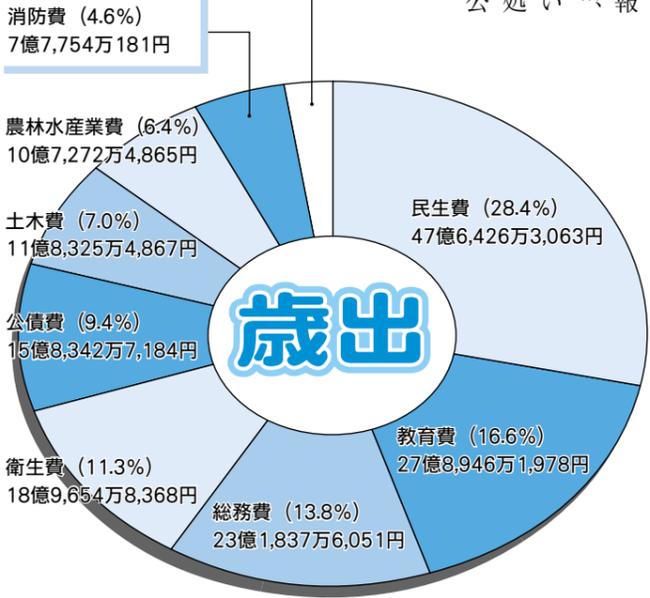
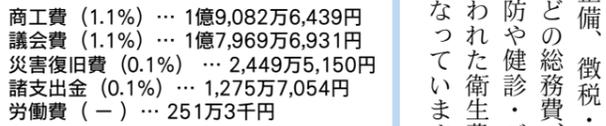
一般会計・歳出の内訳

167億9,588万5,131円

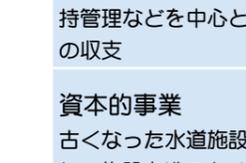
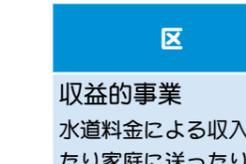
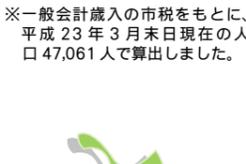
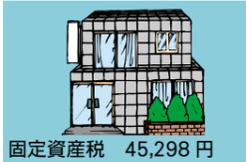
歳出は、市民の皆さんのために使われるお金です。その決算額は167億9,588万5,131円。グラフ2（下・円グラフ）は、歳出を目的別に表したものです。子ども手当やお年寄り、身の不自由な方などのため使われた民生費が最も多く、次いで学校施設の耐震工事や生

涯学習の振興などに使われた教育費、庁舎管理や地域情報通信基盤整備、徴税・戸籍、選挙経費などの総務費、続いて病気の予防や健診・ごみ処理などに使われた衛生費、公債費の順になっています。

(グラフ2)



納めていただいた市税
93,234円



市民一人あたりでは

使われたお金
356,896円



水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的事業 水道料金による収入と、水を作ったり家庭に送ったりするための維持管理などを中心とした営業活動の収支	9億9,918万9,981円	10億235万1,965円
資本的事業 古くなった水道施設の改良や、新しい施設を造るために必要な資金の収支	1億4,400万8,215円	3億6,419万8,055円

※一般会計歳出をもとに、平成23年3月末日現在の人口47,061人で算出しました。